

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	特定化学物質取扱事業所等検査事業	所管	環境クリーン部 環境対策課
			TEL 2998-9230

事業の目的 (何の為に 行うか)	事業者による化学物質の自主的な管理の改善を促進し、化学物質の環境への排出を抑制する。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	規制対象事業所(指定届出施設、特定化学物質取扱事業所等)	対象とした数	114	事業所
		実際に 利用した数	117	事業所

活動の内容 (何を したか)	化学物質の取り扱い状況や施設の管理状況など、法令に基づき、その遵守状況を検査する。 ①検査計画の作成 ②対象事業所への報告聴取の実施(規制基準への適合状況等) ③化学物質取扱量が多い事業所や規制基準の適合状況が思わしくない事業所への立入検査の実施 ④規制基準に適合しない事業所等への改善指導							
	活動実績	項目名	立入検査数(述べ回数)	117 ----- 単位 回	項目名	検査測定数	9 ----- 単位 検体	項目名

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	0	2,244	8,444	24.9

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明(計算方法等)	目標値	実績	達成率
	基準値等の遵守状況	基準値等適合数/立入検査数×100	100 ----- 単位 100	97.4 ----- 単位 100	97.4 ----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕	終了			
	予算	現状どおり 増額 減額 終了				

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当	部課コード	050200	TEL	2998-9230
事業コード	050215	特定化学物質取扱事業所等検査事業	環境クリーン部	環境対策課		
開始年度	平成 11 年度	→	終了年度	平成 年度		
グループ		化学物質				

②事業の概要	事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令				
	分野別計画・指針	所沢市環境基本計画			ダイオキシン類対策特別指置法、埼玉県生活環境保全条例(化学物質関係)、所沢市ダイオキシン類等の汚染防止に関する条例				
	関連・類似事業	大気規制対象事業所検査事業							
	総合計画の体系	政策	第1章 緑豊かな ゆとり・うるおいのあるまち	施策	5節 環境保全	中柱	3 化学物質の環境リスク対策の充実	小柱	(1) 化学物質の管理の強化
・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 8 位		・実施計画における位置づけ…H19 *** H20 ○							
行政改革大綱における行動計画への位置づけ									
コード	3621	事務改善活動等の充実・強化	コード		コード				
事業開始の背景	平成11年3月に成立した所沢市ダイオキシン類等の汚染防止に関する条例に基づき指定届出施設に対する立入検査を実施し、その後、ダイオキシン類対策特別措置法及び埼玉県生活環境保全条例(化学物質関係)の成立に伴い、検査対象事業所を拡大しつつ、現在、化学物質全般の環境への排出抑制指導を行っている。								

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)									
	事業者による化学物質の自主的な管理の改善を促進し、化学物質の環境への排出を抑制する。									
	対象(誰を、何を対象としているのか)					利用数の考え方				
	規制対象事業所(指定届出施設、特定化学物質取扱事業所等)					報告及び検査実施事業所				
対象数	単位	平成 18 年度	122	事業所	利用数	単位	平成 18 年度	116	事業所	
		平成 19 年度	114	事業所			平成 19 年度	117	事業所	
事業の具体的な内容及び実施方法										
化学物質の取り扱い状況や施設の管理状況など、法令に基づき、その遵守状況を検査する。										
①検査計画の作成 ②対象事業所への報告聴取の実施(規制基準への適合状況等) ③化学物質取扱量が多い事業所や規制基準の適合状況が思わしくない事業所への立入検査の実施 ④規制基準に適合しない事業所等への改善指導										

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>									
	総合評価	<input type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])								
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)								
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了								
平成19年度中に改善した点										
化学物質の取扱量や排出量と比較的多い事業所又は規制基準等の遵守状況が思わしくない事業所を中心に検査計画を立案し、化学物質の環境への排出に関して効果的・効率的に事業を展開した。										

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算				1,855
	決 算 (見込み含む)			2,244	
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (人)	(人) (人)		
	正規職員人件費	0.81 人	7,452	0.66 人	6,200
	公債費				
	事業費合計		7,452	8,444	
	財源内訳	一般財源	7,452	8,444	1,855
		国・県支出金			
		受益者負担金			
	市債				
	その他				
市民一人当たり(単位:円)			22.1	24.9	
利用数一単位あたり(単位:円)			64,241.4	72,171.3	

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	立入検査数(述べ回数)	回	116	117		
		検査測定数	検体	11	9		
	成果分析	基準値等の遵守状況	基準値等適合数/立入検査数×100	100	100	100	100
			%	達成率	96.7	97.4	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2 1

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性 <input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	現在の実施主体 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 見直しの必要性
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合 <input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	受益者負担の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 見直しの必要性 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	明らかとなった課題	本事業を実施する上で、化学物質の知見の集積や情報収集は不可欠である。このため、担当職員間の情報共有や勉強会の実施等を定期的に行い、職員の修練・習熟度を高める工夫を行う。		
⑧二次評価	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	
	平成20年度における目標設定	規制対象事業者に対する立入検査(報告聴取を含む。)の実施	全事業者	平成21年3月末
	平成21年度における事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 []) <input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)		
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
評価理由				
各規制対象事業所の規制基準等の遵守状況は良好な状況にあること、また本事業は本市の化学物質の環境への排出抑制を行う上で不可欠な規制・検査事業であるため。なお、予算については、引き続き本事業の効率的・効果的運用を図るが、当該事業に係る経費の殆どが人件費及び検査委託費であることから、現状どおりとする。				
評価日	平成20年5月9日	記入者職氏名	環境対策課長 中 勉	

⑨個別計画における方向性	一次評価	平成21年度における事業の方向性				
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了				
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
	評価理由	評価日				
次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	評価理由	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	評価日					

⑩環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
⑪個別計画における方向性	基本目標		
	主要課題		
	施策の方向		